



友達が



ひが いしや
被害者になったら



ワークブック

はじめに

テレビや新聞、インターネットなどではさまざまなニュースが毎日報道ほうどうされています。その中には犯罪はんざいのニュースもあります。犯罪が起こると、そこに巻きこまれてつらい思いをしている被害者がいます。みなさんは「犯罪被害者」と聞いて、どんなことをイメージしますか。犯人はんんにんのことはニュースでたくさん報道されていますが、被害者のことはあまり報道されていないので、わからないという人もいるかもしれません。

犯罪の被害者はどんな気持ちでいるのでしょうか。どんなことに困っているのでしょうか。もし、友達が犯罪の被害に巻きこまれてしまったら？ 私たちにできることはあるのでしょうか。このワークブックを使って一緒に考えてみませんか？



※このワークブックで出てくる「犯罪被害者」、「被害者」、「被害にあった人」とは、犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為（交通事故など）によって、害を被った者及びその家族または遺族を指します。

目次

もし、周囲に被害者がいたら… ……02

- 声をかけられた被害者の気持ち ～ホッとする言葉・傷つく言葉～

「犯罪被害」ってどんなことだろう ……05

- さまざまな犯罪被害
- 交通事故の被害者について
- 家族も被害者

コラム 日本でおこっている犯罪の件数

被害者はどんな気持ちでいるんだろう ……08

被害者はどんなことを経験するんだろう ……09

- 被害者はさまざまな思いをいだき、苦しんでいます

コラム 被害の影響は心にも体にもあらわれます

- 被害者は事件後さまざまなことを経験します

コラム 被害の回復には時間がかかります

被害者は何をしてほしいと思っているんだろう ……13

- 被害者がしてほしいと思っていること

被害にあったらどこに相談したらいいの？ ……15

犯罪被害者の手記 ……16

※犯罪被害者とその家族の意識に関わる設問や調査結果は、内閣府が実施した「平成20年度 犯罪被害者等に関する国民意識調査」の集計結果をもとにしています。
(<http://www8.cao.go.jp/hanzai/report/h20-2/index.html>)

次のシーンから、さやかの
気持ちを想像してみましょう。

ひっでえよな。
 そんなやつ
 そっごく
 即刻死刑だよな。

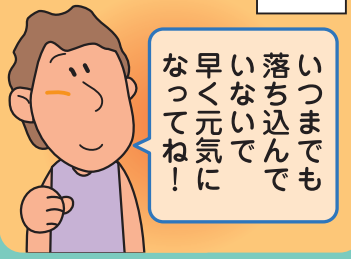
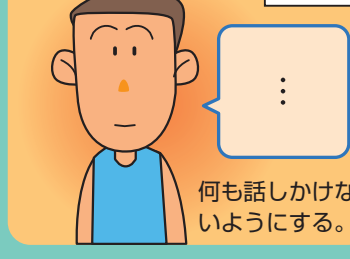
弟くんの分まで
がんばらないとね！

そうだよ。
弟くん、
天国できっと
見守ってるよ。

クラスメイトにはげまされたのに、さやかは教室から走り去ってしまいました。さやかはなぜこのような行動をとったのでしょうか。

A large blue rounded rectangle containing six horizontal dotted lines for writing.

もし、あなたの友達が、さやかのように事故できょうだいを亡くすなどの被害にあったとしたら、あなたなら何と声をかけますか。こんなふうに声をかけたらよいと思うものに○を、反対にこういうことは言わないほうがよいと思うものに×をつけましょう。

ア ☐ 	イ ☐ 	ウ ☐ 
エ ☐ 	オ ☐ 	カ ☐ 

あなたがさやかのような被害にあったとしたら、言ってほしいことや、してほしいことはどんなことですか。反対に、言ってほしくないことや、してほしくないことはどんなことですか。また、どうしてそう思うのかを書いてみましょう。書き終わったら、他の人の意見もきいてみましょう。

言ってほしいことや、してほしいこと

[理由]

言ってほしくないことや、してほしくないこと

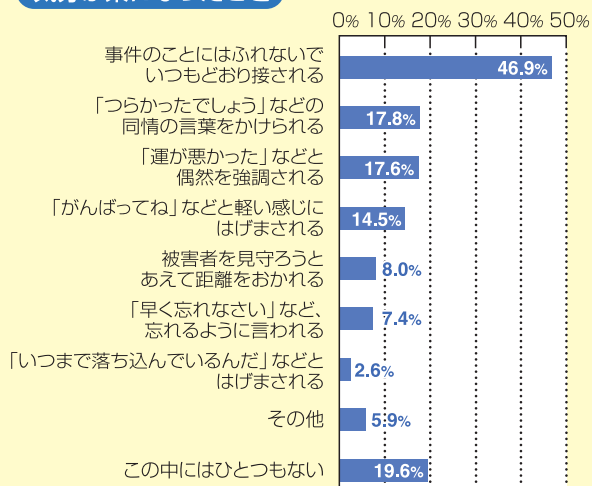
[理由]

声をかけられた被害者の気持ち ～ホッとする言葉・傷つく言葉～

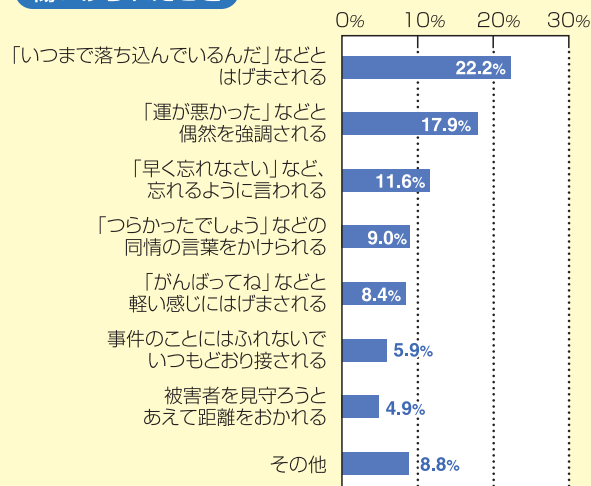
クラスメイトにはげまされたさやかは、傷ついて教室から走り去ってしまいました。さやかのお母さんもお父さんも、近所や職場でのなぐさめやはげましの言葉に傷ついたり怒ったりしていました。

犯罪の被害にあった人はどんな言葉にほっとしたり、傷ついたりしているのでしょうか。次のアンケート調査の結果を見てみましょう。犯罪の被害にあった人に、気分が楽になったこと、傷つけられたことを聞きました。

気分が楽になったこと



傷つけられたこと



「気分が楽になったこと」は、2人に1人が、事件のことにはふれないでいつもどおりに接してもらうことだと答えています。反対に「『いつまで落ちこんでいるんだ』などとほげまされる」ことは、傷ついたと感じる人が多いようです。まわりの人がはげますつもりで言った言葉でも、被害にあって苦しんでいる人はさらにつらい気持ちになることがあります。この調査の結果とみなさんの「言ってほしいことや、してほしいこと」と「言ってほしくないことや、してほしくないこと」とも比べてみましょう。また、まわりの人の考えと自分の考えで、ちがうことはありましたか。

さらにくわしく結果をみると、「『つらかったでしょう』などの同情の言葉をかけられる」「『運が悪かった』などと偶然を強調される」は、どちらも約5人に1人が気分が楽になったと答えている一方で、同じ言葉で同程度の人が傷つけられたと答えています。

「犯罪被害者」といっても「傷つけられる言葉」や「気分が楽になる言葉」は人によって少しずつ違うようです。しかし、多くの被害者は犯罪被害にあったことでそれまでの生活が大きく変わってしまう経験をしているのです。

それでは一体、「犯罪被害」とはどんなことなのでしょう。



「犯罪被害」って どんなことだろう



「犯罪被害」ってどんなことなのでしょう。あなたは「犯罪被害」と聞いて、どんなことを思いうかべますか。どんな姿をイメージしますか。

また、その被害者はどんな犯罪の被害にあったのでしょうか。あなたの思いうかべる被害者の姿や犯罪の種類などを自由に書いてみましょう。

犯罪の被害者はどのような犯罪の被害を受けているのでしょうか。次の3つの犯罪で、事件がたくさん起きていると思う順に番号を書いてみましょう。

ア 殺人・しょうがい傷害等の暴力



イ 交通事故



ウ ちかんなどの性に関する犯罪



さまざまな犯罪被害

みなさんは「犯罪被害」というと、ニュースで報道されることの多い殺人・傷害の事件の被害者を思いかけるかもしれません。もちろん、そういった事件の被害者は事件の影響で心に大きな傷を受けています。一方で、テレビのニュースに出てくるような犯罪以外にも犯罪はあり、その被害にあった人が存在します。たとえば、日本で起きた事件の数が一番多い犯罪は窃盗ですが、自分のお金やものを盗まれた人も被害者です。ほかにも、放火や詐欺（人をだましてお金や物を盗むこと）などがあり、それらの犯罪にも被害にあった人がいて、事件で大変なショックを受けているのです。

犯罪の被害にあうということは、テレビのニュースに出てくるような犯罪にあった人たちだけではありません。みなさんの周囲にも、犯罪被害にあって苦しんでいる被害者がいるかもしれないのです。

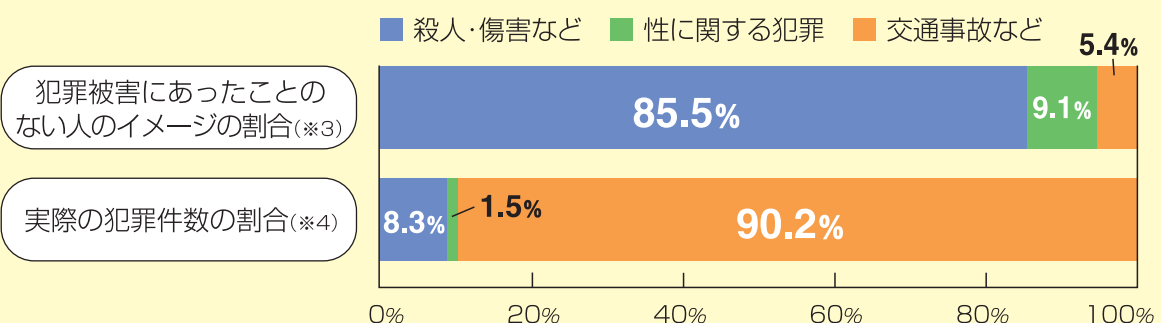


交通事故の被害者について

交通事故の被害者も、犯罪の被害者です。交通事故に巻きこまれた多くの被害者は、他の犯罪の被害者と同じくらい傷つき、苦しんでいるのです。

犯罪の被害にあったことがない人に、「殺人・傷害などの暴力、交通事故、ちかんなどの性に関する犯罪」の中で、「犯罪の被害者」としてイメージするのは、どんな種類の犯罪ですか？ とたずねました。「殺人・傷害など」と答えた人が85.5%、「性に関する犯罪」と答えた人が9.1%、「交通事故」と答えた人が5.4%の順番になっています。

一方、この3つの犯罪の日本で実際に起きている犯罪件数（※1）の割合は、交通事故が90.2%、殺人・傷害などが8.3%、性に関する犯罪が1.5%（※2）となっています。交通事故による犯罪の被害はイメージしている以上に多く起きていることがわかります。



※1 警察などの捜査機関によって発生が認知された件数。

※2 性に関する犯罪では、被害にあっていても、それをまわりに知られるのが恥ずかしかったり、怖かったりして、警察に届けない人が多くいます。そのため、実際に起きている件数はもっと多いといわれています。

※3 内閣府が実施した「平成20年度犯罪被害者等に関する国民意識調査」調査結果のうち「その他」を除いた割合

※4 法務総合研究所「平成21年版 犯罪白書」のうち「殺人・暴力など」「性に関する犯罪」「交通事故」における割合

家族も被害者

犯罪が起きたときに、傷つけられたり、命を落とした人を「被害者」といいます。また、傷ついたり命を落とした本人だけでなく、その家族や周囲の人も同じように傷ついている被害者です。

ドラマ『友達が被害者になったら』では、事故で弟が命を落とし、その姉のさやかや両親も、事故のことで大きなショックを受けて苦しんでいました。

大切な家族が、とつぜんの犯罪によって命を失ったとき、それを受け入れるのはたいへんむずかしいことです。命が助かったとしても、ケガをして苦しんでいる被害者を前にして、家族も同じくらい悩み苦しむことになります。

犯罪の被害を直接受けた本人だけでなく、その家族も苦しんでいる被害者であることを、忘れないようにしましょう。



日本でおこっている犯罪の件数

日本では、どんな犯罪がどれくらい起こっているのでしょうか。平成20年に警察に届けられた犯罪のうち、窃盗、交通事故、ものを壊すこと、殺人・暴力など、性に関する犯罪、放火件数は次のとおりです。このほかにも、脅迫や恐喝などの犯罪があり、それらを合計した全ての犯罪の発生件数は、1年間に約2,533,400件にもなります。それだけ多くの方が「被害者」になっているのです。

窃盗	約1,372,800件
交通事故	約715,300件
(自動車運転過失致死傷等と危険運転致死傷)	
ものを壊すこと	約178,200件
(器物損壊)	
殺人・暴力など	約65,500件
(殺人、強盗、傷害、暴行)	
性に関する犯罪	約11,900件
(強姦、強制わいせつ、公然わいせつ、わいせつ物頒布等)	
放火	約1,700件
(放火、失火)	



法務総合研究所「平成21年版 犯罪白書」より

ひ が い し ゃ 被害者は どんな気持ちで いるんだろう



ドラマ『友達が被害者になったら』のなかで、さやかは弟が亡くなった後、しばらく学校を休んでいました。さやかはどんな気持ち・^{じょうたい}状態だったと思いますか。あてはまると思うものすべてに○をつけましょう。

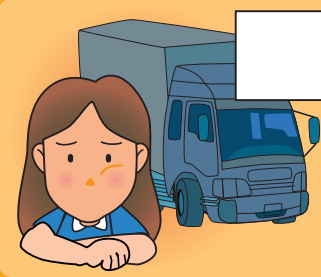
ア 事件が起きたことが信じられず、受け入れることができない



イ だれにも会いたくない、一人にしてほしい



ウ また被害にあうかもしれない、と不安な気持ち



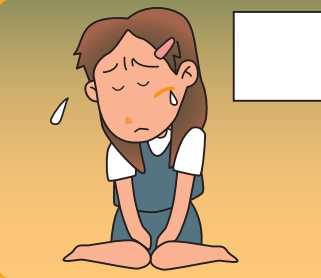
エ ご飯を食べたくない、夜ねむれない



オ だれかにそばにいてほしい、気持ちをわかってほしい



カ 落ち込んで立ち直ることができない



あなたが、さやかと同じような、事故できょうだいを亡くすなどの被害にあったら、どんな気持ちや状態になると思いますか？ 自由に書いてみましょう。

被害者は どんなことを 経験するんだろう



被害者は、被害を受けたこと以外にも、生活をするなかでさまざまなつらいことを経験します。どんなことを経験すると思いますか。ドラマ『友達が被害者になったら』で、さやかやお父さん、お母さんが経験したことも参考にしながら、下を書いてみましょう。



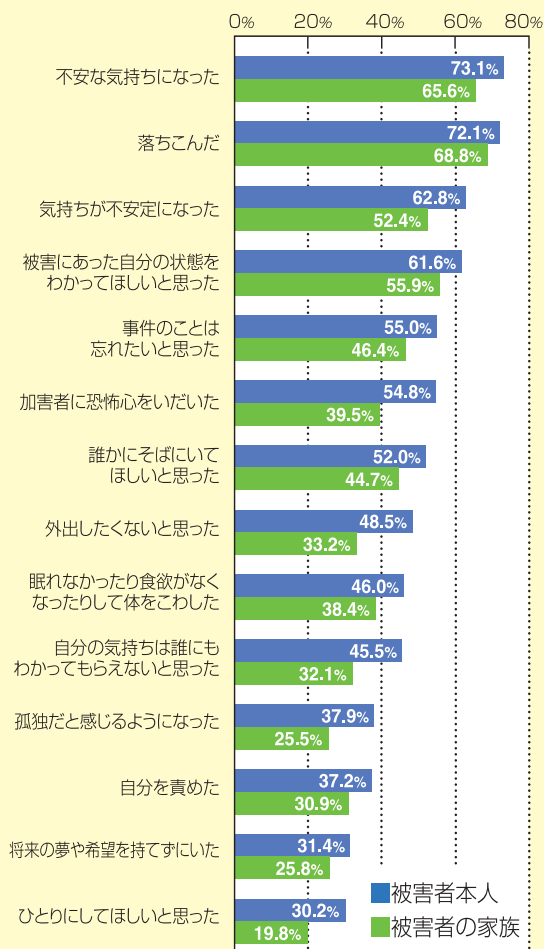
被害者は さまざまな思いをいただき、苦しんでいます

犯罪被害者は、命をうばわれる、身体を傷つけられるといった、目に見える被害を受けるだけでなく、心にも深い傷を受け、その傷は、被害にあう前と同じ状態にまで回復することはむずかしく、とても長い時間がかかります。これは、被害者の家族も同じです。

犯罪被害者に被害後の状況や心境について聞きました。「不安な気持ちになった」、「落ちこんだ」は8割ちかくの人が答えているほか、「自分を責めた」、「将来の夢や希望を持てずにいる」などさまざまなつらい気持ちを被害者が感じていることがわかります。また、「自分の気持ちは誰にもわかってもらえないと思った」と孤独感を感じた人は半分ちかくいるのに対し、「被害にあった自分の状態をわかってほしいと思った」、「誰かにそばにいてほしいと思った」と回答した人も半分以上います。

被害者は周囲の人に心を閉ざす一方で、信頼できる人に話をきいてもらいたい、自分の気持ちを理解してほしいという思いがあり、複雑な心のうちが読みとれます。

事件後の状況や心境



被害の影響は、心にも体にもあらわれます

被害による強い精神的ショックは、心にも体にも影響して、被害者は精神的につらくなったり、体調が悪くなったりすることがあります。たとえば、次のような反応があります。

被害直後

- 信じられない、現実として受け止められない
- 頭の中が真っ白になる、何も考えられない、ぼうっとする
- 様々な気持ち(恐怖、怒り、不安、自分を責める気持ち)がわいてくる
- ときどきする、冷や汗をかく、手足に力が入らない、手足が冷たい



被害直後のショックが落ち着いた後

- 落ち着かない
- 事件に関することが頭の中によみがえってくる
- ねむれない
- はき気がする、食欲がない



このような反応は、時間とともに軽くなっていく場合もありますが、なかにはPTSD(※1) やうつ病(※2) などになる被害者もいます。

※1 PTSD…事件のことをくり返し思い出したり、夢にみたり、事件に関連することをさけたりといった症状があります。また感情や感覚などがまひし、神経のバランスがくずれ、不眠やイライラなどの症状が見られます。

※2 うつ病…気分がひどく落ちこんだり、何事にも興味が持てなくなります。疲れやすくなり、食欲がなくなったり、眠れなくなるなど、日常生活に影響がでます。

被害者は 事件後さまざまなことを経験します

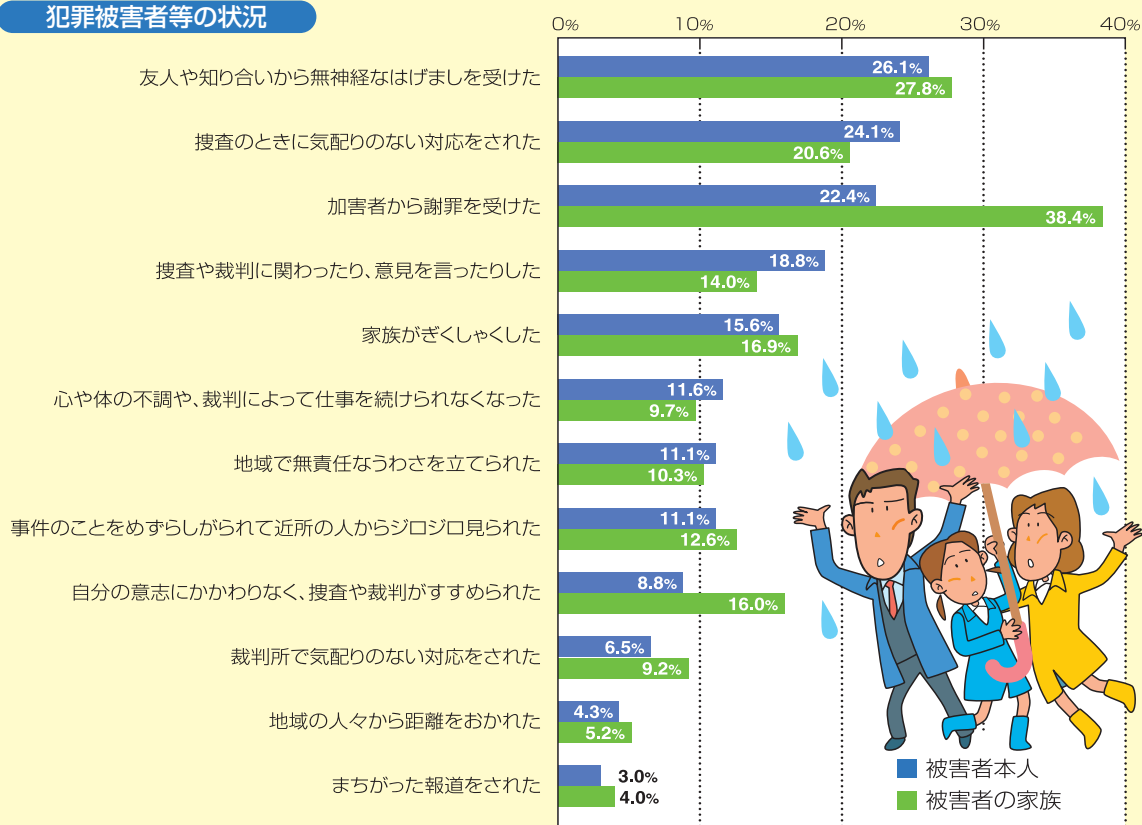
犯罪被害によって心に深い傷を負いながらも、被害者は事件の捜査に協力したり、裁判へ参加したり、事件に関するさまざまな手続きを行わなければなりません。落ちこんだ状態で、今まで経験したことのない複雑な手続きをしたり、多くの人に事件のことを話したりすることは被害者にとって大きな負担です。また、仕事や学校など日常生活でも、周囲の人に心ない言葉をかけられたり、自分のつらい状況を理解してもらえないなど、孤独感を感じることがあります。

被害者に「事件後にどのようなことがありましたか」と聞きました。「友人や知り合いから無神経なはげましを受けた」、「家族がぎくしゃくした」など今までの人間関係が壊れてしまったり、「捜査のときに気配りのない対応をされた」、「自分の意志にかかわりなく、捜査や裁判がすすめられた」など捜査や裁判に関わるなかで傷つくことも多いようです。また、「心や体の不調や、裁判によって仕事を続けられなくなった」と事件によって就労に困ることもあります。

調査の結果からも、犯罪の被害にあった人やその家族が事件によって生活が変わってしまうことがわかります。



犯罪被害者等の状況



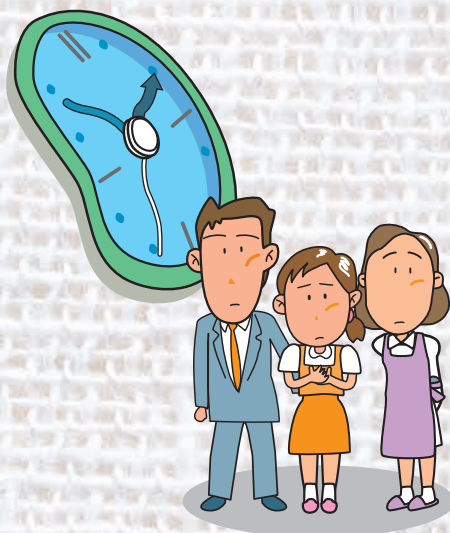


ひがい 被害の回復には時間がかかります

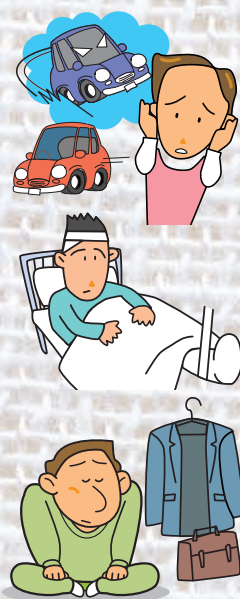
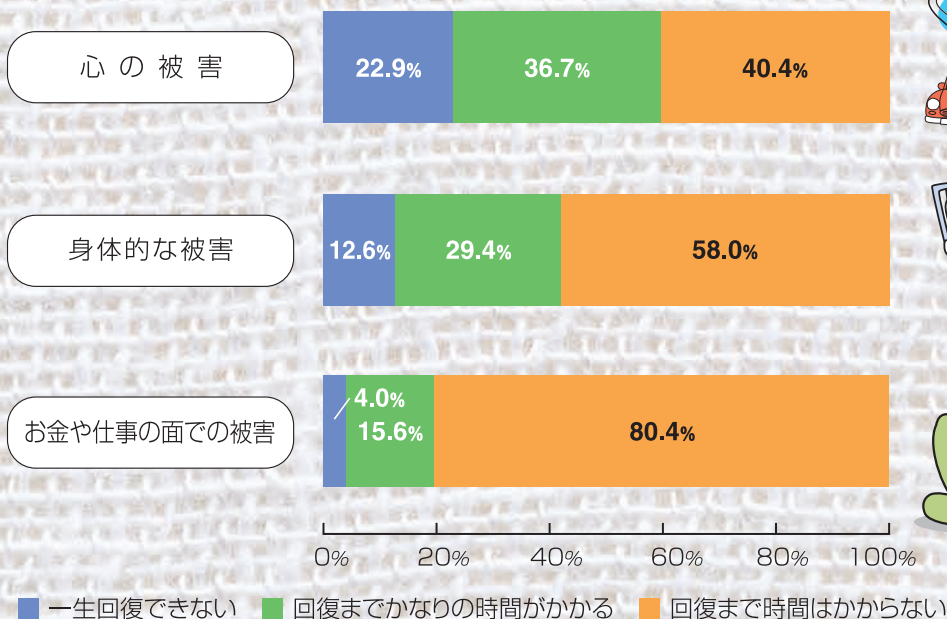
被害にあった人は、大切な人を失った悲しみによって、心に大きな穴があいたような気持ちや寂しさをかかえたり、会社や学校などでも、事件のことを思い出すと何もできないほど落ちこむなど心に大きな傷^{きず}を受けるほか、事件のけがによる障害^{しょうがい}や後遺症^{こういしょう}によって、事件前と同じ生活を送ることができなくなるなどの身体的な被害を受ける場合があります。

お金の面では、被害によるけがを治療^{ちりょう}するためのお金だけでなく、障害^{しょうがい}をおったり、精神的なショックが大きすぎて仕事を続けられなくなることもあり、生活のためのお金、学校に行くためのお金^{こま}に困ることがあります。

被害にあった人に、**心の被害**、**身体的な被害**、**お金や仕事の面での被害**についてどのくらい深刻^{しんこく}と感じたか聞きました。「一生回復できない」ほど深刻だと感じる、「回復までかなりの時間がかかる」と感じると答えた人は、心の被害で約60%、身体的な被害で約40%にのぼりました。被害者がかかえる傷は深く、すぐに回復できるものではないことがわかります。



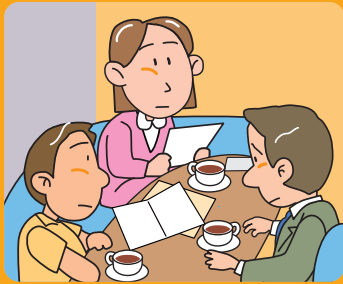
被害にあった人は、こんなに傷ついています



被害者は 何をしてほしいと 思っているんだろう

被害者が、周囲に「こうしてほしい」、「手伝ってほしい」と思っていることがあるとしたら、それはどんなことでしょうか。もし自分が被害者だったらと想像して選んでみましょう。また、友達が被害者だったら、友達に何をしたいと思いますか。

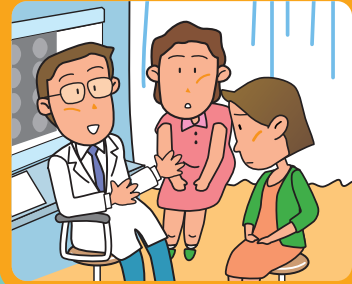
ア 事件の相談相手



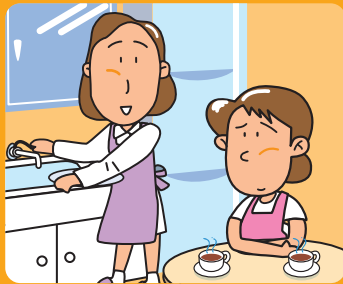
イ 警察や裁判所へ行くときの手助け、付きそい



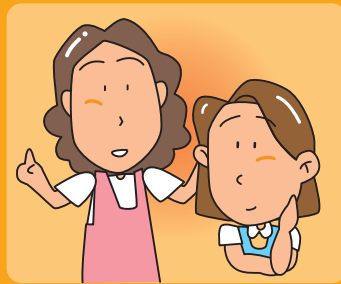
ウ 病院への付きそい



エ 家事や買い物の手伝い



オ ふだんの話し相手



カ そっとしておく



自分が被害者だったらこうしてほしい

()

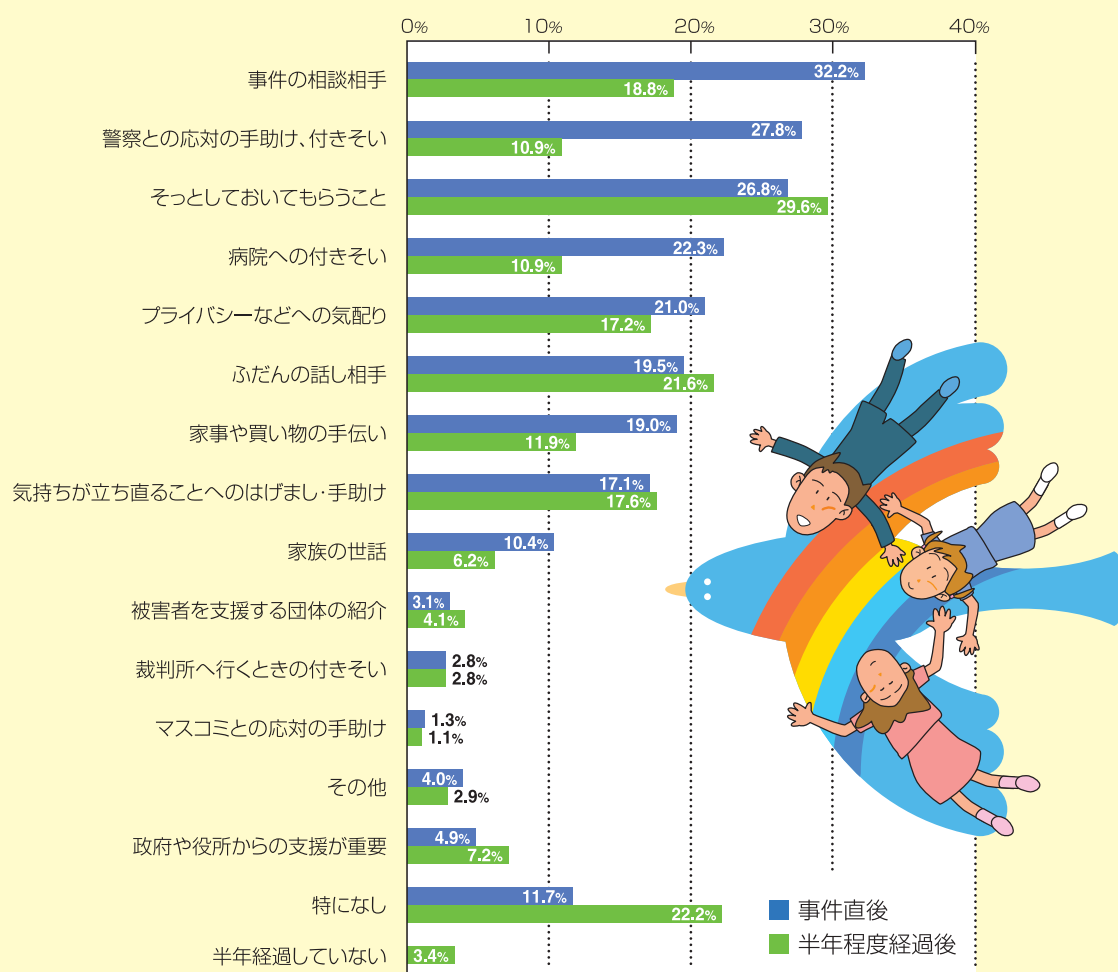
自分の友達が被害者だったらこうしたい

()

被害者が してほしいと思っていること

被害者に、事件にあったあとの生活で必要だった支援は何かを聞きました。「事件の相談相手」、「警察との対応の手助け、付きそい」など事件に関わるもののほかに、「そっとしておいてもらうこと」「ふだんの話し相手」など事件から離れた日常生活のことでも支援や配慮を必要としていることがわかります。

被害にあった人は、こんなことをしてほしいと思っています

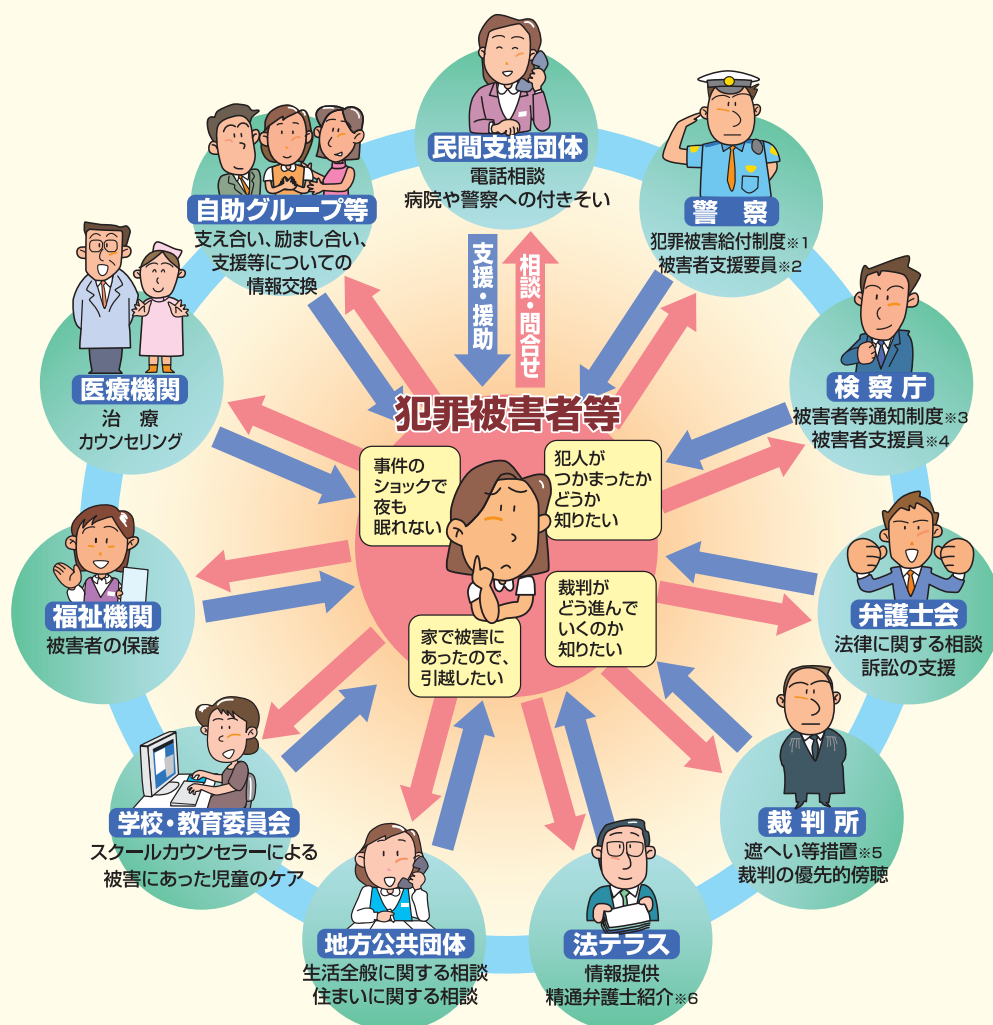


注意しなくてはいけないのは、被害者は落ちこんで悩んでいたとしても決して「弱い存在」ではないということです。被害者を「助ける」という考え方ではなく、その人の気持ちやその人に起こっている出来事をよく考え、「相手によりそう」という気持ち大切です。それは、あなたにとって、いつもどおりに接することかもしれませんし、そっとしておくことかもしれません。相手の話に一生懸命耳をかたむけることかもしれません。自分が相手のためにどうすればよいか考え、すこしずつ行動してみましょう。

被害にあったら どこに相談したらいいの？

ほとんどの場合、犯罪被害者が最初に支援を受けるのは警察です。また、警察だけではなく、地方公共団体や弁護士会など様々なところが犯罪被害者への相談や支援を行っています。全国の各都道府県には被害者への支援を専門におこなう民間支援団体があり、電話で相談を受けたり、日常生活の支援、病院や警察、裁判所への付きそいなどを行っています。

このような様々な関係機関や団体は、お互いに協力するためのネットワークをつくり、被害者への支援がスムーズに行えるようにしています。このように、犯罪被害者への支援を社会全体で行っていかこうとする取り組みがすすんでいます。



※1 被害者の遺族または体に障害を負った被害者などに、経済的な支援を行います。

※2 捜査員とは別の警察職員が被害者に付きそい、情報提供や説明などの支援を行います。

※3 被害者に、事件の処分結果、裁判の結果、犯人の状況、刑務所からの出所時期などの情報を提供します。

※4 被害者からの相談を受けたり、法廷への案内・付きそい、事件記録を見る手助け、他の支援を行っている団体を紹介するなどの支援を行います。

※5 被害者が裁判で意見を述べるとき、加害者と顔を合わせることがないように遮へいしたり、別の部屋でビデオモニターなどを通して意見を述べることができる制度です。

※6 犯罪被害者支援の経験や理解のある弁護士を紹介する制度です。

はんざいひがいしゃ しゅき
犯罪被害者の手記

大好き！お兄ちゃん

東京都 井口 香奈子

私の父と母は共働きなので、いつも家にはいません。だから私はお兄ちゃんと家で留守番です。お兄ちゃんはいつも私を大切にしてくれました。私が次の日テストなのに勉強していないと言うと「やらないと駄目だぞ！香奈子はやればできるのだから」と言って夜遅くまで勉強をみてくれました。お兄ちゃんには新聞配達のアルバイトがあるのに、私ができるまで教えてくれました。

あの日の朝、台所へ行くと母が朝食の用意をしながら「お兄ちゃん遅いね。おかしいね。事故にあったんじゃない？」と言っていました。いつもはどんなに遅くなくても新聞配達のパイトから絶対帰ってくるお兄ちゃんなのに、あの日の朝は玄関のドアが開きませんでした。そして警察からの電話が鳴りました。そこから悪夢の始まりです。母はくるったように床に倒れさげび出しました。私は母を抱きしめながら「お母さん！落ち着いて」と言いました。父は出張でいなかったで、母は警察の人に「気が動転しているなかで運転するのは危ないので一人では来ないでください」と言われたのに自分で運転をして飛び出して行きました。私はお兄ちゃんが帰ってきたら食べるだろうと思い、朝食にラップをかけて、居間で母からの電話を待ちました。母に言われたとおり、親類に電話をして一時間ぐらい待ったところで連絡が来て、いとこの運転する車で病院へ向かいしました。

お兄ちゃんは、病院のベッドの上で冷たくなっていました。いつも汗をかいてピンク色の頬をしていたお兄ちゃんが、青白くなっていました。その横で今まで見たことのないくらいの小さな小さな母が体全身で泣き叫んでいました。私はその恐ろしい光景を死ぬまで忘れないと思います。私も体中の水分が全部なくなるくらい泣きました。おかしくなるくらい泣きました。

母は三日間何も食べず、頬もこけて目に見えるようにやつれていきました。私は泣き続ける母が別人のようで見ているのが悲しく、何もしてあげられませんでした。こんなとき、お兄ちゃんなら私ができないこともかんたんにしてあげられたらだろうと思いました。家に来た人がみんな、「お兄ちゃんの方までお母さんを守ってあげないといけないよ」と言い

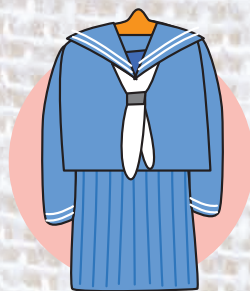
ました。そう言われるたびに、私にはできるわけがないと思いました。お兄ちゃんがいたから、母を守ってこられたのです。でも、お兄ちゃんの写真の前で泣きながら座りこんでいる母を見て、これから母を守ってあげられる強い人にならなければと心に決めました。

お兄ちゃんはつらいことがあるとすぐ泣く泣き虫の母に「僕がお母さんを幸せにしてあげるよ。もう泣かなくていいよ。いつもみたいに笑っていてくれ」と言います。母はいつもお兄ちゃんに元気づけられていました。お兄ちゃんがいなくなって母は笑わなくなりました。最近はすこしずつ笑ってくれるようになりなした。でもよくお兄ちゃんの部屋から目を真っ赤にして出てきます。私に気付かれないように目をこすりながら下を向いています。

お兄ちゃんを返して下さい。お兄ちゃんは悪いことなんてしたことがありません。お兄ちゃんみたいに優しい人はいません。太陽のように光りがかやいていました。これから大学生活を楽しもうとしていたお兄ちゃんです。どうして一瞬のうちにうばってしまうのですか？

三月の寒い日、私は母と、新しく入学する高校の制服を取りに行きました。家へ帰って制服を着た私を見て、母はポロポロ涙を流しながら兄の祭壇の前で「お兄ちゃん！香奈ちゃん高校生になったんだよ。一緒におめでと言おうね。がんばったから受かったんだよ」と言いました。私も涙が止まりませんでした。お兄ちゃんも見えてくれた気がしました。入学式の日、他のお母さんはうれしそうに笑っているのに、私の母だけはまた泣いていました。

母はお兄ちゃんがいなくなってから一度もお兄ちゃんの夢は見えていないと言いますが、私は二回お兄ちゃんの夢を見ました。夢を見たことのない母は「夢でいいからお兄ちゃんに会いたい」と言います。でも私は夢ではない本物のお兄ちゃんに会いたいです。そして大きな声でお兄ちゃんに何度も言いたいです。「お兄ちゃん、大好き！」って。



DVDを見たり、このワークブックを読んだり、友達と話しあったりして犯罪被害について思ったり、感じたことを自由に書いてみましょう。



犯罪被害者等に関する児童・生徒向け啓発用教材

友達が被害者になったら ワークブック

平成21年11月20日 第1刷

企画・監修

内閣府犯罪被害者等施策推進室

〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1

電話 03-5253-2111 (代)

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/index.html>

協力

文部科学省

東京都教育庁

社団法人 被害者支援都民センター

発行／株式会社 ザ・コンベンション 〒107-0061 東京都港区北青山二丁目7-9日昭ビル6階



ひがいしゃ
友達が被害者になったら

ワークブック